

(公財)京都市森林文化協会	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
---------------	---------------------------

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散及び統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり、「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

2 「今後の方向性」に向けた基本的方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため、業務面や財務面等についての基本的な方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については、「目標年度」までの方針となる。

業務面	公益財団法人として掲げる森づくり事業やイベント事業、森林体験支援事業等の各公益目的事業の推進と一体的に、宿泊休養施設をはじめ各収益施設の利用者数の増加を目指す。
財務面	経営の安定化を図るため、収益事業等を中心に独自収入を増加させ、現在の短期借入を解消し、安定した経営を目指す。
組織面	公益目的事業を専門的に担える人材を育成するとともに、各事業の運営状況に合わせて適切な職員配置を行う。
その他	特になし

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本的方針」を実現するための具体的取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1) 業務に関する取組

目標 「山村都市交流の森利用者の拡大」					
取組内容	京都市北部山間地域における豊かな自然や山村文化を積極的に活用し、都市住民への魅力発信により、山村都市交流の森の利用者拡大を図る。特に、国定公園の指定（予定）を機に、新たな取組を検討、展開し、収益施設の利用者拡大につなげる。				
○指標1	山村都市交流の森入園者数				
採用理由	山村都市交流の森エリア全体の入園者数を地域活性化（都市住民との交流）の指標として設定する。				
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29 (単位：人)
	30,982	32,000	33,000	34,000	35,000
実現方法	京都市北部山間地域の魅力を活用した取組の充実とともに、魅力発信を効果的に行うことにより、山村都市交流の森入園者数の増加を目指す。				

(公財)京都市森林文化協会	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
----------------------	---

○指標2	宿泊施設利用者数				
採用理由	宿泊施設は、収益施設の主たる施設であり、その利用者数を指標として設定する。				
目標値	H25(実績) 10,221	H26(見込) 12,500	H27 11,000	H28 12,000	H29 13,000
実現方法	宿泊を必要とするイベント（星空観察など）等を充実させることにより、宿泊施設利用者数の増加を目指す。				

(2)財務に関する取組

目標 「経営の安定化」					
取組内容	一般正味財産が平成25年度末で、△1,313千円であったが、平成26年度で解消する見込みである。今後は、公益財団法人としての基準を満たしながら、収益事業の充実により、必要な運転資金を確保し、経営を安定させる。				
○指標	一般正味財産期末残高				
目標値	H25(実績) △ 1,313	H26(見込) 4,000	H27 5,000	H28 6,000	H29 7,000

(3)組織に関する取組

目標 「職員研修の充実」					
取組内容	職員が、事業の企画運営、経営に必要な知識を得るために、先進事例の調査を積極的に行うとともに、森林文化のインストラクターとしての資質の向上など研修や講習会等に参加する。 また、職員は技術の習得と視野の拡大を図るために、年間を通じて固定した業務に就くのではなく、季節や業務の繁閑、技能の程度に応じて、臨機応変に配置換えを行うものとする。				
○指標	研修への参加				
目標値	H25(実績) 2	H26(見込) 10	H27 3	H28 3	H29 3